



平成30年7月豪雨災害 ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ・豪雨災害）  
第2回助成決定にあたって

## はじめに

6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心として広い地域が集中豪雨に襲われ、河川の氾濫や洪水、土砂災害など、人的被害を伴う甚大な被害が生じました。

この豪雨災害により亡くなられた方々に心よりお悔み申し上げます。また被害を受けられた方々には謹んでお見舞い申し上げます。被災された方々と被災地域の復旧を心よりお祈り申し上げます。

被災した12府県59市町村では、災害ボランティアセンターが開設され、ボランティアグループやNPO等による、救援・復旧・復興のための支援活動が行われました。現在でも被害の大きかった岡山県、広島県、愛媛県を中心に支援を必要としており、ボランティアによる支援活動が続いている地域があります。

この状況を受け、中央共同募金会では、平成30年7月豪雨災害 ボランティア・NPO 活動サポート募金（以下ボラサポ・豪雨災害）の第2回助成応募受付を開始し、各地でボランティア活動を行うボランティアグループやNPO等を資金面で支援し、被災地と被災者を支える活動に助成を実施することとしました。

11月28日、ボラサポ・豪雨災害の第2回目の助成先を決める運営・審査委員会（以下委員会）を開催し、63件、合計9,856万円の助成を決定いたしました。

被災地では仮設住宅への入居も始まり、まだまだ課題が山積している状況ですが、本助成を活用し、被災地の問題解決の一助となることを期待しております。

また、平成30年度では7月豪雨災害だけでなく、各地で多くの被害をもたらした台風21号災害、北海道で最大震度7を観測した北海道胆振東部地震が発生しました。

これまで、ボラサポでは、特に大規模な災害において、助成を実施してきましたが、全国でさまざまな規模や形の災害が多発していることに鑑み、大規模な地震災害以外の災害や平時の防災に関する取り組みなどにも対応できるよう、しくみや体制を整えることの検討を行っています。

## 1. 第2回応募状況と助成決定状況

10月12日から開始した第2回目の助成公募では、76件、合計12,348万円の応募がありました。

第2回応募では応募フォームへの入力することで応募できるようシステム導入を行ったことにより、第1回応募と比較し、要件の不備により審査対象外となるものを無くすことができ、応募いただいた76件を審査対象として審査を行いました。

今回の応募でも、第1回の助成応募と同様、一番多かった活動内容は被災家屋内外の片付け、清掃でした。続いて被災者同士のつながりの再生を支援する活動、物資の運搬・仕分け・提供、サロン活動でした。

その活動地域は、全体の応募の 15.8%が岡山県倉敷市真備町、14.0%が広島県安芸郡、ついで広島県呉市、岡山県倉敷市、愛媛県宇和島市、広島県三原市の順でした。被災規模が大きかった広島・岡山・愛媛の 3 県内の複数市町村を活動地域としている応募や北海道胆振東部地震・台風 21 号災害と同時に活動している団体もありました。

活動団体の所在地は、24 都府県にわたり、全国から支援団体が被災地に駆けつけていました。最も多かったのは東京都 (12.5%) ですが、ついで岡山県、熊本県 11.1%、広島県 9.7%となっており、被災地や過去に被災の在った地域が支援を行っていることが伺えます。

## 2. 選考にあたっての考え方

第 2 回の選考では、応募要項に記載したとおり、「審査にあたって重視する点」として、以下の 7 項目に重点を置き審査を行いました。

- ①目標や問題意識が明確になっているか
- ②プロジェクトを実施するための手法が明確で適切か
- ③さまざまな人たちの参加と協力が得られているか
- ④災害ボランティアセンター等現地の団体や現地に拠点を置く団体と連携や協働により活動を行っているか
- ⑤被災地で暮らす人たちの潜在的な力を引き出し、高めていこうとしているか
- ⑥被災地での新しい社会的事業・活動へと発展する可能性があるか
- ⑦「この先」を意識した活動であるか

また、発災時からの活動から遡っての助成も行うこととしており、活動団体や現地の状況を確認するため、必要に応じて聞き取り調査を別途させていただきました。

## 3. 今後の予定について

被災地では復興にあたり、まだまだ多くの支援を必要としており、ボランティアの力を求めています。皆さまからの寄付のおかげで第 3 回目の助成を行えることとなりました。

第 3 回目の募集要項の告知は 2 月上旬、応募受付期間は 2 月上旬～中旬で予定しています。

第 3 回応募要項では、短期の活動 (30 日以内、上限 50 万円)、中長期の活動 (31 日以上、上限 300 万円) の助成募集を行う予定にしております。詳しくは本会ホームページに掲載する応募要項をご覧ください。(中央共同募金会ホームページ: <http://www.akaihane.or.jp/>)

「ボラサポ・豪雨災害」の助成の特色は、5 名以上のグループでの応募が可能なことです。法人格の有無は問いません。次の社会を担う若い世代の皆さんをはじめ、多くの皆さまからの応募を期待しております。

最後となりましたが、発災直後より全国の個人・企業の皆さまより多くのご寄付をいただきました。深く感謝しますとともに、今回、助成が決定した団体の皆さまにおかれては、寄付者の方がたから託された貴重な財源による助成であることを理解いただき、有意義な活動を展開されるよう望みます。

災害ボランティア・NPO 活動サポート募金および  
大阪府北部地震支援金における運営・審査委員会  
委員長 山崎 美貴子